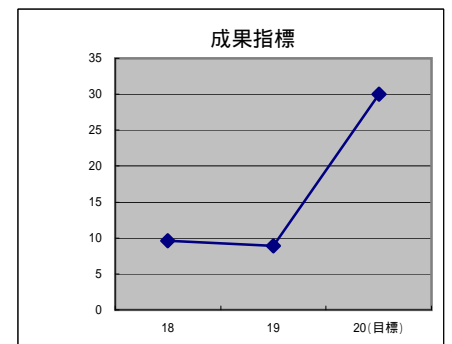
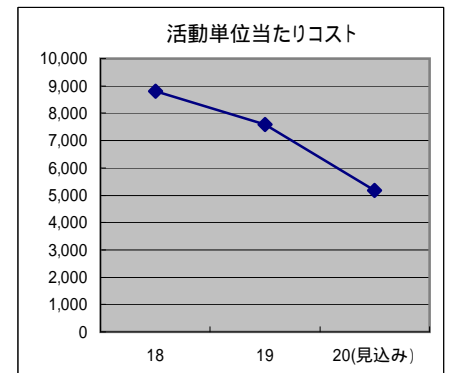


事務事業名	骨粗鬆症検診事業		予 算 科 目	会計	1	一 般 会 計
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	2	予防費
				事業	5	保健事業
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち			
	施策(節)	1	保健・医療			
	施策の方向	(2)	保健事業の推進			
関連する計画等	健康はびきの2 1			作成部署	保健福祉部保険健康室健康増進課	
連絡先				連絡先	072 958 1111 内線 5150	
事業の目的	対象(誰を・何を)					
	市民で当該年度4月1日現在で40・45・50・55・60歳の女性、65・70歳の男性・女性					
	意図(どういう状態にしたいのか)					
事業の内容	骨粗鬆症を早期発見、治療することにより骨折・寝たきりを予防する。					
	保健センターを会場に集団検診で実施					
	骨密度測定と骨粗鬆症予防の健康教育、骨密度測定の結果要注意の人への栄養相談を実施					
根拠法令等	老人保健法					
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 14 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない					
事業開始時からの状況変化						
市民や議会の要望						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()					
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		委託内容	検査及び結果説明	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託					

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		416	401	602
人件費【2】 (千円)		4,140	3,300	3,300
職員数	正規職員	0.45 人	0.35 人	0.35 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.15 人	0.15 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		4,556	3,701	3,902
財源内訳	国費 (千円)	594	558	
	府費 (千円)	594	558	1,510
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	3,368	2,585	2,392
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
健康診査受診者 人		518	488	755
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		8,795 円	7,584 円	5,168 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		38 円	31 円	33 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	検診受診率(%)	検診受診者÷対象者×100	目標	15	15	達成率(%)
				実績	10	9	59.3%
	式)			目標			達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	骨粗鬆症検診は高齢者の増加に伴い、介護予防の観点からも重要である。疾患の予防教育、早期発見早期治療が必要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	本事業は民間医療機関等においても実施機関が少なく、一般に普及していない。市は市民の健康保持増進のために、検診を実施していく必要がある。
分析・評価	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	民間への業務委託により、事業後の集計報告も含めて職員の従事する業務量は簡素化できている。
	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	検診受診者の内、骨折へのリスクが高い対象者へは個別指導を行っており、骨折の予防に有効である。
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	国の基準に基づくものであり、医療という専門分野であるため、市民の意見は反映しにくい。しかし、受診率向上のためにも健診項目や内容に関する希望など市民の意見を反映していく必要がある。
	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	国基準の目標値を設定しているが、受診率は低迷している。今後も受診率向上につながる対策を検討する必要がある。

担当部局評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	高齢期の転倒骨折が要介護原因の上位を占めており、健康寿命の延伸を図るうえで、骨粗鬆症にならないための成人期からの予防と、高齢期における転倒予防が重要となっている。骨密度測定だけでなく、年齢層に応じた健康教育を組み合わせた効果的な内容改善を図る。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	骨密度測定だけでなく、年齢層に応じた健康教育を組み合わせ、成人期には栄養指導と運動指導、高齢期には転倒予防教室など、効果的健診となるよう方法の改善を図る。